

岩野建設株式会社が青少年健全育成のために町へ500万円を寄附 ほか



浜田町長に目録を手渡す
岩野社長（右）

**町の子どものために
役立てて**
岩野建設が青少年健全育成のために町へ500万円を寄附
4月18日、岩野建設株式会社の岩野光一代表取締役社長と林忠弘取締役業務部長が町長室を訪れ、町の子どものために使って欲しいと500万円の目録を浜田正利町長に手渡しました。
岩野建設は昭和43年の創業から今年で50年の節目を迎え、その記念として町への寄附を計画。岩野社長は「この地で50年育てていただいた。町への感謝の意味とこれからもこの地で生き続けたいという思いを込めて寄附をしたい。大きくなった子どもたちがいざ新得に帰ってきて町づくりに参加してくれると嬉しい」と町への思いを語りました。



園児に絵本を手渡す
帯広トヨタ会加盟店の社員

**子どもたちの交通安全
全意識の高揚を**
帯広トヨタ会が町内児童保育施設に交通安全絵本、紙芝居を寄贈
「春のトヨタ交通安全キャンペーン」の一環として、帯広トヨタ会が4月18、24日、町内の児童保育施設に交通安全絵本「はなびをみにいこう」と交通安全紙芝居「ピカピカひかっまもってくれる」を寄贈しました。
この取り組みは、帯広トヨタ会を組織する十勝地区のトヨタ販売店4社とトヨタレンタリース帯広、トヨタ部品北海道共販が協力し、自動車が生活に密着している十勝の子どもたちに、交通安全の意識を高めてもらうと昭和44年から毎年実施されています。

**場所が変わっても
アハハが大好き**
アハハの会がひろねで
再スタート
ボランティアの高齢化等により3月で解散したサロン事業アハハの会（なかよし会館）が、地域密着型特別養護老人ホームひろね（佐藤郁子施設長）の地域交流スペースを活用し「ひろねアハハの会」として再スタートを切りました。
初開催となった4月10日は、新規入会の7人を含む32人がひろねに集まりました。会の代表となった佐藤施設長から「今を幸せにするには美味しいご飯を食べましょう。今日を幸せにするには友達と会いましょう。これから幸せになるには人とつながりましょう。今からここにいるみんなが仲間。一緒に楽しみましょう」とあいさつがあり、初めての場所に少し緊張気味だった参加者の表情がほころびました。
この日は、町保健福祉センターなごみリフレッシュルームの木下雅隆運動指導員が体操やレク、得意のトークで参加者の心と体をほぐした後、ボランティアが作ったお汁粉を囲み、和やかな時間を過ごしました。
前代表で引き続きボランティア



新たなスタートを切った「ひろねアハハの会」
新代表の佐藤施設長（手前左）、太田前代表（手前右）

にあたる太田虎勢さんは「こんなに新しい方が来てくれると思わなかった。みんなが大好きなこのアハハを、今度はこのひろねの地でねづかせていきたい」と抱負を語りました。
この「ひろねアハハの会」は、継続したサロン事業運営のために施設付近の町内会長や民生委員、ボランティアなどで構成するサロン運営委員会（町社会福祉協議会が主体）を立ち上げ、小地域一体となった運営体制を構築する新たな試みの中で生まれ、地域に根ざしたサロン事業の新たな形として活動が期待されています。

新得高等支援学校さくらプロジェクト ほか



支援学校の生徒から
記念品を受け取る愛澤くん

**入学おめでとう！
大切に使用してね**
新得高等支援学校生徒が
新得高等支援学校生徒が
新得高等支援学校の生徒が町内の全新得1年生へ入学記念品を製作して贈る「さくらプロジェクト」の贈呈式が4月19日に町内各校で行われました。
木工科生徒が製作したスツールと家庭科・家庭総合科の生徒が製作したクッションと脚力バーのセットが児童へ手渡され、家庭科生徒から「クッションは布を2枚使ったので大切に使用して欲しい」とあいさつがあり、富村牛小学校1年生の愛澤君は「家に持って帰って大切に使用したい」と話していました。
また各校に木製のベンチが2脚ずつ贈られ、ベンチの裏に学校名が刻まれているのを見つけた児童たちは、嬉しそうに歓声をあげました。



自己紹介をする新規入学生

**新たに10人が入学
1年間楽しく学習を
寿教室第43期開講式**
平成30年度新得町民大学寿教室の開講式が4月26日、町公民館で開かれました。
武田芳秋町民大学長（町教育長）は式辞の中で竹内まりやさんの曲『人生の扉』の歌詞に触れ「この歌のように皆さんもまだまだこれからという気持ちで元気に寿教室に通ってほしい」と話しました。
受講生を代表して八幡文雄学級委員長からは「今年も様々なプログラムを用意してもらった。皆さんと一緒に楽しく学習したい」とあいさつがありました。
今年度は10人の新規入学生を含む91人の方が学習クラブ活動に励みます。



道路清掃を行う岩野建設の社員

**ゴミのない気持ち良
い町に**
事業所や少年団などが
清掃活動ボランティア
雪解けとともに町のあちこちにたくさんのごみが姿を現す4月。事業所や団体が環境美化のため、清掃活動に取り組みました。
4月22日は、新得水泳少年団が町営温水プールから町公民館の間を「ゴミ拾い。子どもたちは「毎年拾ってもゴミはたくさんあるね」と苦言を吐いたり、吸い殻などを一生懸命拾って歩きました。
4月23日は、新得フィヨンスクラブ（柴田信昭会長）と商工会青年部（根本健史部長）が新得神社で枯れ枝や落ち葉などをゴミ拾い。
4月27日は、岩野建設株式会社（岩野光一代表取締役社長）が会社付近の道路と歩道の清掃活動を行いました。



きれいになったプールの前で笑顔を見せる
新得水泳少年団と保護者ら



神社山の清掃を行った
商工会青年部



新得ライオンズクラブ